



→朝一番に自転車
の一団が東京側に
渡って行った。

←河川敷のゴルフ場の芝
生一面に紫色のムラサキ
サギゴケが咲いた。小さな
花だが近づいて見ると、な
んとも可憐だ。



連日のように晴天が続いている。気象庁によると十日連続で八時間以上晴天が続くのは五十三年ぶりだという。そんな晴れの日も四日水曜日まで。翌日の五日には気温十三度も下がって肌寒かった。翌日、六日にはよく晴れたが風が強く、春の嵐が吹き荒れた。とにかく変化の激しい一週間だった。そんなあわただしい週末、舟頭さんはご機嫌斜め。

「だいたいさあ、オレたちの若いころは、男は黙って〇〇ビール。っていつて酒は男が飲むものだった。ところがいまはビールにしても、酒のCMは女がしてる。どうなってるんだろう」

「時代が変わったってことだろうな。だいたいアサヒビールがスーパードラ伊を売り出したとき、あんなものビールじゃないといっているうちに、あれよあれよといううちに大ヒットなものなあ。女性を対象にしたのがよかったんだろうねえ」

という私の言葉をついで

「ほかのメーカーもアサヒにならってドライって名をつけたビールを売り出

今週のクマ

→ムラサキサ
ギゴケの咲く
芝生の上でく
つろぐクマ。



→子どものころに“ビー
ビーイチゴ”といってい
たグミの花が咲いた。
別名、田植えイチゴと
もいっていたよに記憶
しているが赤く熟れる
のは6月ごろだ。



した。それがいまじゃ、あたりまえのよ
うにアルコール類の宣伝を女性がするよ
うになった。ひどい話だよ」

舟頭さんはふんまんやるかたない。

それだけ時代が変わったということな
のだろう。私がアルバイト学生だった半
世紀ほど前には、アサヒビールなどは人
気がなくて、キリンやサッポロやサント
リーよりもはるかに下だった。

しかし、そのころのアサヒビールは、
たとえば瓶を落として割ったときなど、
王冠、つまりふたを開けたものでなけれ
ば新しい物と取り替えてくれていた。そ
のくらい営業マンの腰が低かった。

それがスーパードライを発売するや、
たちまち他社を引き離して業界トップに
躍り出た。そのころの私はスーパードラ
イはビールじゃないといっていたものだ
が、いまやそんな私が笑われるしまつ。
「まあな、いまや世の中は女性でもって
いるようなものななあ。うちなんか
娘にたじたじだよ。やってることがオレ
なんかにはまるつきりわからない」

舟頭さんという。私には子どもがいない
のでわからないが、時代に遅れないよう
にしないと、おじさんたちは笑われる。